

平成24年2月29日

スーパーおおぞら13号の空調装置から 白煙が発生した事象について

この度は、2月26日(日)スーパーおおぞら13号の空調装置から白煙が発生し、列車の運休及び深夜にバス代行を行いお客様には大変なご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

本日、今回の事象について原因が判明しましたので、お知らせいたします。

1. 概 況

2月26日(日)20時45分頃、石勝線 東迫分駅構内において 札幌19時45分発 釧路行きスーパーおおぞら13号にご乗車のお客様から、当該列車の車掌に5号車の室内で煙が出ている旨の申告があり、列車を非常停止させました。

5号車および6号車のお客様については、1号車側に移動していただくとともに車両の点検を行ったところ、エンジン等床下機器に異常はなく、火災の危険性はないことが判明しました。

また、当該列車の空調を「切」としたところ、車内の煙は収まりましたが原因が判明しないため、当該列車は、現場197分停止後、川端駅まで運転し、お客様は代行バスにお乗換えいただきました。

2. 車両番号

キハ282-2003号(釧路運輸車両所 所属) *6両編成の5号車

3. 原 因

当該車両(5号車)の空調装置内の室内送風機を動作させるための接触器の電気接点(24V)が劣化により折損したことで、暖房が「入」となっているにも関わらず室内送風機が動作せず、同装置内の暖房用ヒーターで暖められた熱気により、ヒーターに付着していた塵埃や水蒸気がダクトから白い煙のようなものになって客室内に流れ出たためです。

4. 対 策

- (1) 同系式の全車両(283系)について2月27日の始発前に空調設備の正常な動作状態の確認及び点検を実施しました。
- (2) 283系全車両の当該部位の接触器について、現在一斉点検を行っており3月2日までに終了する予定です。今後、空調設備の定期的な検査を継続すると共に、接触器の取替周期を定めてまいります。